

榛沢郡三拾四里之間、灰砂石貳尺三尺、碓水<sup>(水)</sup>

さゝか峠は五尺六尺ふり、人馬通路なく、

上下之御大名様方、甲州迄御廻り被<sup>レ</sup>遊、輕井

沢火石降り、三拾軒余焼失、碓水<sup>(水)</sup>峠

社家拾四軒、石砂之おもり(錘)にてつふれ(潰れ)、

右村々山々、諸木諸作等冬木のことし(如し)

一同四日晚焼出、火石五拾丈茂高く打上ケ、

火石手まり取ことく、煙先々石砂雨如し、

一同五日晚八ツ時より八ツ半時分、浅間山より黒雲

出、寅卯の方へそろそろと差渡し、壺丈余り

なる光り者くるくるとまわり、火花稲妻

のことし、其けわしき事たとへ